

びらば



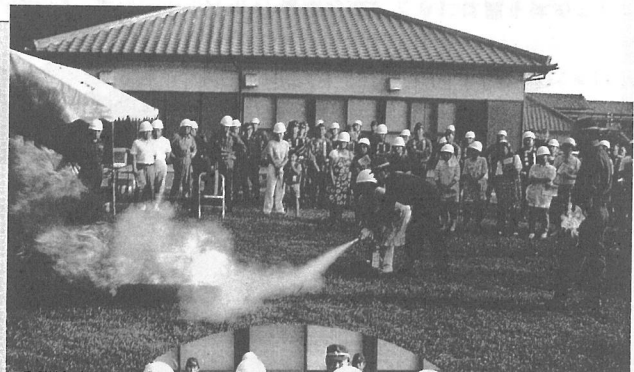
獅子の妙技に割れんばかりの拍手 大宮神社で「梯子獅子」を奉納

8月31日(日)、中台の大宮神社で行われた「風祭り」では、恒例の「梯子獅子」が奉納され、町内外から訪れた大勢の人たちが獅子の妙技に目を奪われました。

祭りは、午前中に子ども御輿とお離子が地区内を練り歩き、正午過ぎからは大國主命を祭る村社・大宮神社に地区民のほとんどが集合。紅白の幕をめぐる舞台の上で、歌や踊りのにぎやかな演技が続き、そして、太陽が西に傾きかける時刻から奉納された「梯子獅子」では、境内の大銀杏に立てかけられた約15メートル・33段の梯子に、同地区若獅子会の青年(怒賀利英さん・秋葉憲一さん)の扮した獅子が、横になつたり逆立ちしたりする妙技を次々に披露。二人の呼吸の合った空中アクロバットのようなこの獅子舞いに、多くの見物客からは大きな拍手が送られていました。

中台の「梯子獅子」は、悪霊払い、火伏せ・息災延命を祈り行われるもので、平成3年12月に幕張メッセで開催された「食と緑の博覧会」でも披露された全国でも大変珍しい獅子舞いです。今後も、由緒あるこの伝統芸能を後世にまで伝えていただきたいと思います。

大総地区で 避難誘導訓練



大切なのは日頃からの防災意識

今年で18回目を迎えた「町防災訓練」が、8月31日(日)の早朝、大総全地区を対象に実施されました。

今年の訓練は、地震や大雨などによる土砂災害が発生した場合に備え、日頃から防災意識を深めておこうとするともに、有事の際に適切な行動が取れるようにと行つたもので、大総地区のみなさんや消防団員など約550名が参加しました。

主会場となった大総小学校と寺方青年館では、避難訓練のほか、消防署職員の手導のもと、初期消火訓練や緊急時の担架の作り方など実践ながらの訓練も行われ、参加したみなさんは熱心に取り組んでいました。

災害はいつ起こるか分からないものです。普段から家族ぐるみで防災対策について話し合っておきましょう。

防災行政無線に 加入しましょう

加入しましょう

町では、台風や地震、津波などの災害時に、的確な情報をより迅速にみなさんに伝達し、災害などから身を守ることを目的とした防災行政無線事業を行っています。この防災行政無線は、台風情報などの災害状況のほかにも、町の各種行事や各学校、保育所の連絡事項も伝えていきます。加入費用は5千円(約4万円のうち3万5千円を町が負担)ですので、未加入の方はぜひ加入申込みしてください。

くわしいことは、役場総務課(☎内線218)へお問合せください。

※ 防災行政無線の戸別受信機は、アンテナやコードが汚れていると、雑音などにより受信状態が悪くなりますので、日頃からよく掃除しておくようにしましょう。

